

区分	<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 再提案（令和元年第146回総会；飯田市）		
種類	<input checked="" type="checkbox"/> 現行制度の改善又は拡充を求めるもの <input type="checkbox"/> 新たな施策の要望又は提案を求めるもの <input type="checkbox"/> 特に市町村への財政支援策等を求めるもの <input type="checkbox"/> その他（ ）	分野	<input type="checkbox"/> 総務文教 <input checked="" type="checkbox"/> 社会環境 <input type="checkbox"/> 経済 <input type="checkbox"/> 危機管理建設
要望先	<input checked="" type="checkbox"/> 国	担当省庁	厚生労働省
	<input checked="" type="checkbox"/> 県	担当部局	健康福祉部
	<input checked="" type="checkbox"/> その他	名称	全国民生委員児童委員連合会
件名	7 民生委員・児童委員制度の在り方と負担軽減について		
提案市	飯田市、飯山市		
提案要旨	<p>民生委員・児童委員を取り巻く社会状況は、制度創設から100年経過する中で大きく変化している。福祉関係制度の改正が行われる中で、この制度が時代に適応しているかの検証をお願いしたい。</p> <p>また、民生委員・児童委員のなり手不足解消のため、民生委員・児童委員活動の負担軽減について検討し、具体的に負担軽減につながる活動の指針を示すことを要望する。</p>		
提案理由	<ul style="list-style-type: none"> ・社会保障制度が変遷する中、民生委員・児童委員活動の環境は大きく変化している。また、活動の中心を担う年齢層（60歳以上）は、以前と違い多くが就労するなど、その活動に総じて負担感が増している。 ・今回の一斉改選において、新たな民生委員・児童委員のなり手不足が顕著である。推薦母体である地域自治組織からは、活動の負担軽減や処遇改善など、活動内容の在り方も含め制度の見直しを求める要望が大きい。 ・また、負担感や責任の重さから任期1期で退任する委員の割合が高く、継続した地域とのつながりが持ちにくくなっている状況である。 ・今の時代に合った制度への見直しと、活動の負担軽減や処遇改善などは今後の安定した選任につながる。 		
現況及び課題等	<ul style="list-style-type: none"> ・民生委員・児童委員の全国における定数に対する委嘱率はH25年改選時97.3%、H28年改選時96.5%、R元年改選時95.51%と年々低下している。 ・民生委員・児童委員の改選時における新任委員の割合はR元年改選時全国平均31.4%。飯田市では55.74%。（飯山市 R元年84.93% R4年77.46%） ・飯田市の民生委員・児童委員の平均年齢は、H25年改選時65歳、H28年改選時67歳、R元年改選時67歳（飯山市 R元年66歳 R4年66歳） ・飯田市の民生委員・児童委員の活動状況はR3年度の一人当たり平均142日である。（飯山市 R3年85日） ・飯山市では、R4年8月に民生児童委員を対象にアンケートを実施したと 		

	ころ、約7割が負担感を感じており、課題として冬期間の高齢者世帯等の住宅除雪対応、地域のつながりの希薄化、民生児童委員活動への理解不足などがあげられている。
関係 法令	民生委員法